

女川町復興まちづくり住民説明会（鷺神浜） 議事録

日 時：平成24年2月16日（木） 18：30 ～ 20：30

場 所： 総体柔道場

対象者： 上全区

出席者：女川町 須田町長

復興対策室 赤間室長、柳沼参事、西尾係長、鑑氏、木村主査、神山事務員
水産課長、建設課長、税務課長、町民課久坂

1.挨拶 須田町長

2.資料説明：復興対策室

- ①基本的な考え方
- ②断面図（案）
- ③高台移転候補地（案）
- ④まちづくりのスケジュール（案）
- ⑤具体的復興事業の概要
 - ・災害公営住宅整備事業
 - ・防災集団移転促進事業
 - ・漁業集落防災機能強化事業
- ⑥防災集団移転促進事業による移転者の再建収支試算（想定）

3.意見交換（Q；住民、A；町役場）

- Q. A' のところは高台移転したいということであれば買い上げになるのか。
- A. 高台移転については可能。盛土のところに移る、あるいはそのままの場合、現段階では、防災移転事業での買い上げ対象にはならない。その差については今後検討させてもらう。
- Q. 鷺神、黄色のエリアだが将来像が見えてこない。
- A. 今のところは原案であり、これからの意見交換、測量設計等で決まっていく。
- Q. 高台移転の場合の買い上げ単価と、宅地購入単価は同じくらいなのか。
- A. どちらも鑑定評価が必要となっている。6月くらいに結果を示せるようにしたい。
- Q. 旧国道398号はどのような形になるのか。
- A. 今の計画では、両側歩道、自転車レーン含め、17mくらいの幅を想定している。
- Q. 黄色エリアについての津波対策はどうなるのか。
- A. 黄色い所は、既存の土地との高さ等を考えて設定している。今後の検討課題ではある。
- Q. 旧国道398号は通学路になっている。自転車道と歩道を付けてもらいたい。
- A. 県の事業になるので、粘り強く交渉していく。
- Q. 旧国道398号大型車進入禁止にできないのか。
- A. 安全確保上の問題として、そこは問題提起を頂いたということで理解してほしい。
- Q. また大きい津波が来た場合、女川町が陸の孤島になり得ると思うがその点についてはどう考えるのか。
- A. 防災のときの行政的な機能についてバックアップ体制を整えておかなければならないと認識している。道路については、外とのアクセス確保、半島道路の整備、高台間のネットワーク確保を検討している。
- Q. 上全区でどこまでが建築制限になっているのか。
- A. 紫のラインの範囲。
- Q. 建築制限かかっているところは、建ててはいいが、ただ何かそこで事業始まったときは取り壊すということか。
- A. そういうこと。個別の相談を受ける。
- Q. 仮設には何年いられるのか。
- A. 仮設は状況に合わせて1年ごとに延長が可能となっている。

Q. 仮設が集約されるということはあるのか。

A. 可能性はある。

Q. みなし仮設はどうか。

A. 国の方ではまだ何も言っていない。最低1年の延長を要請していく。みなし仮設から、仮設への移動についても要請していく。

Q. 支援金は2年なのか。

A. 5年に延長された。

以 上